




教材の活用場面

活用した教材	考えよう！デジタルリテラシー（教材番号すべて）		
教材URL	https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/digital_literacy/archive.html		
STEP	STEP 4	領域	C情報モラル・セキュリティ
学校名	品川区立伊藤学園	校種	義務教育学校（後期課程）
学年	第9学年	教科等	市民科
単元名	集団討論		
活用の概要	集団討論のテーマとして、グループで一つの事例を選び、討論を通して考えを深める。二つのグループに分けることで、評価するグループが事例に対して達観できるようにしている。		

活用の様子

【ポイント1】グループで一つの事例を選ぶ。	
	「考えよう！デジタルリテラシー」の9つの事例のタイトルから、討論したいものを一つ選ぶ。
【ポイント2】個々の考えをまとめる。	
	事例を見て、専門用語やデータを調べながら、自分の考えをまとめる。
【ポイント3】解説を見て、さらに討論する。	
	解説を見て、新たな質問に対して討論することで、事例についての考えを深める。

授業中の活用ポイント

段階	●主な学習活動・生徒の活動	○支援・留意点 ■デジタル教材 ☆評価
導入	1 集団討論について確認する。 2 テーマと討論の流れを確認する。 ・次の①～④を確認する。 ①テーマはグループで九つの事例から選ぶ。 ②事例を見て、個人の考えをまとめる。 ③個々の考えを発表する。 ④全員が解説を見て、討論する。	○要点を押さえる。 ■教師のタブレット端末の画面をミラーリングしながら説明する。 ○個々の考えをまとめる際に、解説はまだタップしないことを確認する。
展開	3 テーマを決める。 ・グループで討論したいテーマを、九つの事例から選ぶ。 4 個々の考えをまとめる。 ・「事例を見る」をタップし、事例に対する自分の考えをまとめる。 ・必要な専門用語やデータを調べる。 5 解説についてさらに討論する。 ・「解説を見る」をタップし、解説に対して討論する。	■一人1台学習者用端末を見ながら、事例を選ぶ。 ○自分たちで決めたテーマについて討論することで意欲的な発信・受信を期待する。 ■一人1台学習者用端末を利用し、必要な情報を調べる。 ■一人1台学習者用端末を見ながら、討論する。
まとめ	6 自己評価と他者評価、まとめ ・前半グループは、集団討論のリフレクションを記入する。 ・後半グループは、前半グループの集団討論について評価シートに記入する。 ※前半グループと後半グループを入れ替えて、3から6を行う。	○他者評価の項目を明確にしておく。 ○集団討論のリフレクションの項目を明確にしておく。 ○他者評価についてはその場で生徒によるフィードバックを行い、教師が整理しながら進める。 ☆以下の観点で教師が総括評価を行う。 ・主張・根拠が明確であったか。 ・議論の流れに応じて柔軟に考えを更新できていたか。